かしわざき

教育センター・育成センター所報

GALILEI

入場者数2100名のにぎわい

電車でGO！

おのでら博士の秘密の実験ショー

スリッパフォンで名演奏

学生スタッフさんが大活躍

風船ホバークラフト

アイスクリームをつくろう

青少年のための科学の祭典２０１４
柏崎刈羽大会

平成 26 年６月 21 日(土)実施（会場：新潟工科大学）

CONTENTS

○今月の巻頭言 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ１
　★新たな不登校を生まない取組について
　　教育センター運営委員
　　柏崎市立第二中学校　校長　梅澤　伸一郎
○教育センターだより
　★アクセス（教育研究班） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ２
　★プロジェクト Ｋ（科学技術教育センター）・・・・・・・・・・ Ｐ６
　★心の窓（教育相談班） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ１０
○８月の行事予定表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ１２
○所員随想「つれづれ」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Ｐ１２
　★♪ギター♪　　ふれあいルーム指導員　須藤直子

平成２６年７月号

柏崎市立教育センター　柏崎市青少年育成センター

今月の巻頭言

新たな不登校を生まない取組について

教育センター運営委員
柏崎市立第二中学校
校長　梅澤　伸一郎

第二中学校にお世話になり二年目、柏刈地区学警連を始め、生徒指導を担当しております。まず、柏刈地区の小中学校の全てが落ち着いた雰囲気の中で教育活動が行われており、学習、運動、芸術等に子どもたちが積極的に取り組んでおります。学校の取り組みに対して、保護者、地域、行政等の関係機関の皆様から御理解と御協力をいただいているおかげであると深く感謝しております。

生徒指導と言えば、「不登校」の問題があります。ここ２・３年間では、不登校児童生徒数は減少しています。柏崎市教育委員会の今年度の「学校教育　実践上の努力点」の中に示されている「新たな不登校を生まない」ということについて。各校が強い意識をもち、小中学校で情報を共有して未然防止と初期対応に努めている成果であると思います。全市の中学校区が「小中一貫教育・柏崎方式」（子どもの成長を９年間のスパンで捉える枠組みです。中学校区で教育課題を共有し、目指す子ども像を設定して取り組みます）の中で特色を生かした工夫ある取組みが成果を挙げています。当校の実践を紹介します。

１　小学校と連携した取組

○　あいさつ運動…比角コミセンと連携

○　「子ども健やかはぐくみ宣言」…小中で共通して実践する事項を毎年見直す

よく学ぶ…家庭学習　小：学年×10 分　中：１時間以上
持ち物、提出物を確認して、カバンの中を整理する

豊かな心…自分からあいさつし、笑顔を心がける
温かい言葉を使い、地域の人や先生には敬語を使う

ハッピーライフ宣言（子どもたちによる小中合同保健委員会を開き見直す）
朝ご飯を必ず食べよう
小：９時～10 時までに寝て、睡眠時間を８～９時間
中：11 までに寝て、７時間以上の睡眠時間
メディアの使用は、平日２時間、休日は３時間以内として自室に持ち込まない

○　深めよう絆集会…いじめ見逃し０スクール

２　教育相談の充実

全ての生徒を対象として一人年間３回以上実施。１回目は学級担任ですが、２回目以降は、養護教諭、部活動顧問、管理職など生徒が希望する職員が担当する。

生徒を多面的に理解することに努め、問題等に対しては早期発見・即対応の意識をもって取り組んでいる。相談結果は集約した後、緊急性や継続性を判断して対応すると共に情報の共有化を図り、関係機関との連携も視野に入れている。

３　学校として心がけていること

・教育相談やアンケート結果を分析して、全職員で情報の共有化を図る。
・休みがちの生徒には不登校対策委員会を開き、指導や支援の方針を決める。また保護者や関係機関との連携を模索する
・全職員が日頃より、目配り、気配り、声かけを意識する。

子ども一人一人を大切にしながら、お互いの良さを認め合うことができる集団づくりに努め、新たな不登校を生まない学校を実現していきます。

アクセス

■研修講座より

美術は美術館にあるのではなく、その人の見方感じ方によってどこにでも存在する…

◆6/20（金）美術教育講座　講師：横浜国立大学准教授　大泉 義一　様

この講座は、横浜国立大学准教授 大泉義一先生をお迎えして剣野小学校で行いました。大泉先生からは、まず、「表現」と「鑑賞」を別々の活動と捉えてきた傾向はなかったか、についての投げかけがありました。今回、学習指導要領に示された〔共通事項〕は、「表現」と「鑑賞」の間で、共通に働いている「能力」であり、その視点から見ると、「表現」と「鑑賞」は、「相互啓発」の関係にあるとご説明いただきました。

講師の大泉義一先生

そして、人間が呼吸することと同じように、表現する力は、「感受」と「表出」を繰り返しながら高まっていくものということや、人が「能動的に見る」ことによって、対象が「オブジェ」として認められることもご指導していただきました。

その上で「美術」は、「美術館」にあるのではなく、その人なりの見方・感じ方によって、どこにでも存在するということを「Open museum（オープン・ミュージアム）という考え方をもとに、分かりやすく説明していただきました。

参加された先生方の感想には「当たり前の中に美しさを再発見させることの良さを感じました」「美術とは生きること、おもしろがること、と言うことを教えていただきました」等、美術科担当以外の先生方にも参考になる内容が多くありました。

「マイ・プラン」で教師の思いを大切にした道徳授業を！

◆7/9（水）道徳授業づくり講座①（演習マイプラン作り）　講師：比角小学校長 若林　勝 様

この講座は、比角小学校 若林 勝校長先生を講師にお招きして行いました。前半は「魅力ある道徳の時間」と題してご講義をいただきました。その中で「規範意識や倫理観の欠如、いじめ問題の欠如の解決が求められており、これが道徳の教科化の要因の一つ」と語られ、教師の意識改革の必要性を語っていただきました。

マイ・プラン作成にご助言される若林勝先生

また、道徳の授業の質を高める資料の条件として「もう一人の自分に出会うことが出来る」「心に染み込み、状況がわかる」等のことをあげられ、「悩みや心の揺れを取り上げる授業を大切に」ということも示されました。

後半は、目の前の子どもの実態に即し、今、最も取り扱わなければならない「価値」を明確にした上で関連する行事、教科等を意識した道徳授業マイ・プランを実際に作成し発表し合いました。

この日、参加された先生にお願いする形で１２／２（火）に「マイ・プランによる授業公開と元気の出る協議会（講座番号 73)」も行いますが、先生方が作ったマイ・プランで校内ミニ公開授業がたくさん行われることを願っています。

「自分がこうしたい」という思いを大事に・・・

◆7/15（火）文化体験講座　　講師：芸術院賞受賞鋳金作家・日展理事　原　益夫 様

この講座は、柏崎市大久保にお住まいの日本の芸術分野の最高峰、日本芸術院賞受賞者の原益夫様をお招きして行いました。そこでは参加者が粘土による創作を行い、その作品への批評を通してものを創り表現する文化活動への思いに触れました。このことを通して、子どもの前に立つ教育者としての豊かさを深め、柏崎の文化の継承についても必要感を感じることをねらった講座です。

受講生の作品にご講評される原益夫先生

冒頭、原先生からは「『こうでなければいけない』ではなく、『自分がこうしたい』という思いに近づけていくこと、そして思い切って自由に自分を表現することが大事」とのお話がありました。その後、お題として「常日頃、考えていること」「今後、自分がやってみたいこと」が出され、約５０分間の創作となりました。その間も原先生は作品を見ながら一人一人と対話し、自分の思いを強くもち、それを表現しようとしていくことの大切さを、時間を惜しんで全員の参加者に伝えていらっしゃいました。

また、原先生のアドバイスの中には「とにかく、自分の思いを明確にもち続けることが大事。これがないと表現はできない」「誰にもまねできない表現をすれば比較されることがない。大胆に、自由に表現をしていくことが大事」「遊び心がないとつまらないものになってしまう」等、生き方に触れる内容もありました。

参加された先生方の感想には「芸術院賞を受賞されている方の言葉に触れることができ、芸術、文化のすばらしさを感じることができました」「作品は見る角度によって全く違って見えます。ものの見方考え方も異なる角度からみることが大事だと思いました」等、教師としての在り方を再考するきっかけになるような講座だったことがうかがえる内容が多く記載されていました。

大きい声を出しても大丈夫、という安心感を・・

◆7/18（金）児童生徒を生かす音楽指導　講師：第三中学校教頭　矢島　昭彦 様

この講座は、第三中学校 矢島 昭彦教頭先生を講師にお招きして行いました。講座では冒頭、「つばさをください」を参加者で歌いながら、「指揮をする際は２拍前は手首だけ、１拍前に腕全体で。この予備の動作でテンポ、強弱、音色が決まります」との指導がありました。また、３つの基本的な腕の動き「平均」「杓う」「叩き」を、実際に指揮をしていただき、参加者で歌いながら実感する場もありました。

講師の矢島昭彦先生

後半では「音の出る学級、学年の作り方」について、「子どもの歌声を決めるのは 100%教師の責任」「大きい声を出しても大丈夫、という安心感が必要」等、普段の学級経営にかかわるお話もされました。

参加された先生方の感想には「指揮の基本をユーモアたっぷりに教えていただき、素人の私でも自信がわいてきました」「集団づくりが基本だと考えることが出来ました」等、音楽の指導方法だけでなく、教師としての姿勢が伝わる講座であったことがわかる内容が多くありました。

■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

資料を登録しました

◆柏崎教育情報支援システム

実施日	講座名／資料名
7/11	学校ホームページの管理 おたより機能を活用した学校ホームページの管理.pdf（第 2 版） 掲載に関する文書例.doc
7/10	保健統計 保健統計.pdf（第 9 版）

◆コンテンツサーバ

実施日	講座名／資料名
7/1	スクールオフィス PTA メール講習 NO17_PTA メールシステムの利用.pdf（第 4 版） （例）PTA メールを受信するための手続き.docx（保護者向けの案内例） 資料_PTA メールを受信する際に必要な設定_NTTdocomo の携帯電話.pdf 〃 NTTdocomo のスマートフォン.pdf 〃 NTTdocomo の iphone.pdf 〃 au の携帯電話.pdf 〃 au のスマートフォン.pdf 〃 au の iPhone.pdf 〃 SoftBank の携帯電話.pdf 〃 SoftBank のスマートフォン・iPhone(i.softbank.jp).pdf 〃 SoftBank のスマートフォン・iPhone(softbank.ne.jp).pdf

◆コンテンツサーバ（教育委員会資料）

登録日	資料名
7/9	ALT News Letter 第 31 号

■ 情報関連講習会のご案内

8 月に実施される講習会

◆H26.08.01(金) Word 活用2（ヘッダ・フッタの設定とセクションの活用）

ページ番号や文書名などをページの余白に入れる手順、セクションを設定してレイアウトの異なるページを同一文書内で扱う手順などを学習します。研究紀要や文集などを美しく、効率的にまとめるコツも伝授します。Word2010 で実施します。

【これを知らない人は受講する価値あり】ヘッダ・フッタの挿入や編集、ページ番号の設定、セクション区切り、他の文書の挿入、段組み、改段の挿入、段落罫線、ページ罫線、表記ゆれ、文字の検索・置換

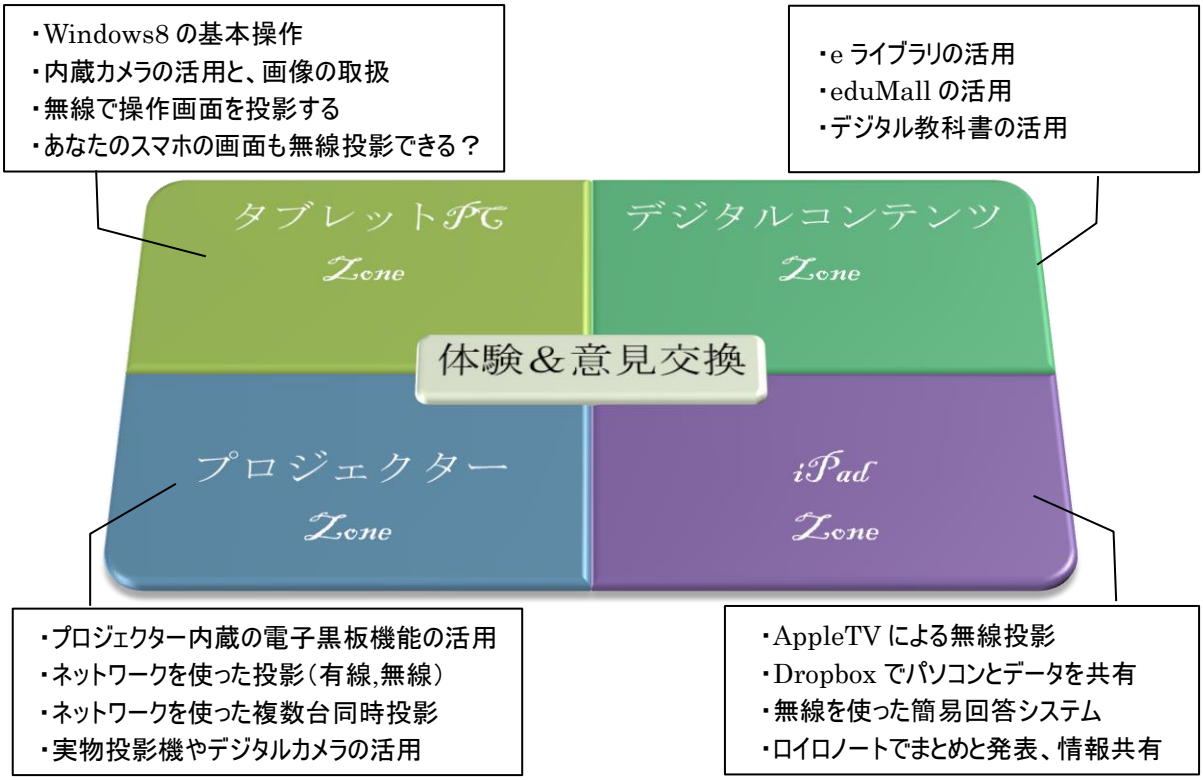
◆H26.08.01(金) Word 活用3（差込印刷と宛名印刷）

Excel で作成した名簿データを使って Word で差込印刷を行う手順を学習します。案内文への所属・氏名の差し込み、はがきやラベルへの住所・氏名の差し込みを扱います。Word2010 で実施します。

【これを知らない人は受講する価値あり】同じ文面を宛先を変えて印刷（差込印刷）、官製はがきへの宛先住所の印刷（宛名印刷）、タックシールへの住所等の印刷（ラベル印刷）

◆H26.08.06(水) ICT 活用ワークショップ

情報教育研究部共催講座（どなたでも受講できます）。柏崎市が整備している機器や環境を、日常の授業などでどのように活用したらよいかという視点で、体験と意見交換を行います。情報教育研究部の先生方と打ち合わせにより、会場を4つのエリアに分け、グループごとに「体験する」→「活用例やアイディアなどの意見交換を行う」という流れで順に回り、最後に全参加者で情報共有を行います。



◆H26.08.07(木) 教師のための SNS 入門

LINE,Facebook,Twitter など児童生徒が興味を持つ SNS（ソーシャルネットワークサービス）の基礎知識を学び、LINE の体験や模擬授業を行う予定です。

講師：　こども SNS "ぐーぱ" 運営事務局（こどもコミュニティサイト協議会）
代表　大笹　いづみ　様

◆H26.8.21(木) Excel マクロ入門1（自動記録、印刷制御）

Excel のマクロ機能(VBA)の基礎を学習します。自分で操作した手順を記録する自動記録機能を使って、印刷指示や、データ入力などを容易にするマクロを作成できることを目指します。自動記録機能で作られたマクロの部分的な修正のコツも扱います。マクロに興味はあるが、自分で作るには何から始めてよいかわからないという方はぜひ受講して下さい。

◆H26.8.21(木) Excel マクロ入門2（分岐処理、繰返し処理）

Excel のマクロ機能(VBA)の基礎を学習します。条件により処理を分ける分岐や繰返しを使って、自動記録ではできないマクロ処理を行えることを目指します。Excel マクロ入門1を受講した人、マクロの自動記録は使ったことがあるという人が対象となります。

◆H26.8.22(金) Excel マクロ入門3（ユーザーフォームによる入力支援）

Excel のマクロ機能(VBA)とユーザーフォームを使用して、データ入力を容易にする、利用者にわかりやすいインタフェースにするなどの工夫ができることを目指します。簡単なマクロは作ったことがあるという人が対象となります。

■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、7 月 9 日付で 7 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が 2 件、「重要」が 3 件、「警告」が 1 件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

【研修会・事業の様子】

○中３「運動とエネルギー」６月１７日（火）実施

◇内　　容

今年度の中学校の単元別研修は、現場で活躍されているお二人の先生から講師としておいでいただき、現場ですぐに活用できる実践を紹介してもらうこととなりました。今回、金井先生からは２力の合成を鉛直方向で測定することで誤差を減らす方法やトラス構造の体感実験を、石原先生からは位置エネルギーの測定の工夫と簡単ホバークラフトの紹介をしていただきました。

「実験誤差をできるだけ少なくする方法」を紹介する
金井　勇輝先生（東中）：左
石原　明先生（南中）：右

○小６「てこのしくみとはたらき」７月２日（水）実施

◇内　　容

てこの学習での指導上の問題点を大型てこからてこ実験器へのスムーズな移行がしにくい点と、学んだことと日常とのつながりが弱いという点の２つととらえ、その問題点を軽減するために、どんなことを単元構成の中で意識していくかを話合いを通して考えました。てこのしくみやはたらきの素晴らしさを感じるにはやはり、直接体験することが大事です。多くの児童に自分で触って感じる経験をさせるために、イレクターパイプを使った大型てこの実験器の作製も行いました。

導入・大型てこでの体験の重要性を考える

○科学研究おうえんプロジェクト「昆虫観察会」７月５日（土）実施

◇講　　師　川又　昌弘先生・川又　美知子先生（柏崎昆虫愛好会）
　　博物館　佐藤　俊男学芸員

◇内　　容

軽井川周辺で子どもや保護者、教職員を対象とした昆虫観察会と標本づくりの講座を開催しました。当日は総勢約７０名の参加者が雨上がりのさわやかな日差しの中、昆虫観察と採集の魅力を堪能しました。

昆虫観察・昆虫採集に夢中の参加者

講師の川又昌弘先生は、「参加者が一生懸命昆虫にかかわりながら楽しんでくれてよかった。採集や標本を通して、命を大事にする心や生物を慈しむ心を伝えたい。採集した昆虫をよく観察して羽が痛んでいたら、鳥にやられたのかな、他の虫にやられたのかなと想像することが大事なんだ。」と語られました。

参加した児童生徒は、「知らない虫を知ることができてよかった。チョウ、バッタ、トンボを自

分でとることができた。トンボは３種類もとれてうれしかった。虫採りをまたしたいと思った。」と感想を述べていました。また、保護者からは「普段できない経験を計画していただいてよかった。子どもたちが喜んで活動していたので来年もぜひ、企画してほしい。これをきっかけに理科に興味をもってほしい。」「昆虫をこんなにじっくりと見たのは初めて。虫であっても命の大切さを感じた。とても充実した体験ができた。」との感想をいただきました。

昆虫標本の作り方を丁寧に教える先生方

○要請研修<たくさんの学校から要請をいただきありがとうございました>

①第一中学校地層事前学習
６月２３日(月)実施

地層観察会に向けてのプレ授業を行いました。前半は聖が鼻巡検を控えた生徒たちに、巡検で何を観察してくればいいか、そのことからどんなことがわかるのかなどを小学校の復習も兼ねて確認しました。また、後半には顕微鏡で観察する化石探しの実習を行いました。顕微鏡でしか確認できない小さな化石探しに目を輝かせる姿が印象的でした。

化石を顕微鏡で探す生徒

②プラネタリウム授業
６月下旬から７月実施

６月下旬から小学校１７校の４年生でプラネタリウムを活用した授業を行いました。一人でも多くの児童生徒が夜空に興味関心をもち、実際の空を見上げてくれるといいなあと思います。

博物館のプラネタリウムを会場にした授業

③科学研究のすすめ
６月下旬から７月実施（７校）

科学研究のテーマは身近なところにたくさんあることを簡単な演示で説明したり、教科書に書いてあることをこれ本当？という気持ちで見直すことで科学研究は生まれたりすることを紹介しました。今年もより多くの児童生徒が、科学研究や科学作品づくりに取り組んでくれることを期待しています。

教科書実験から科学研究が広がることを印象づける実験

④剣野小学校４年生親子学習「星空観察会」
７月４日(金)実施

あいにくの雨天でしたが、室内で巨大スクリーンに映し出された宇宙映像を使って宇宙探検をしたり、星の広がりや衝突、歴史を小実験を通して感じたりしました。

参加者は宇宙の歴史の壮大さを実感し、今を生きる自分の存在とを比べたり、この世に誕生した自分の命を考えたりしていました。

天候不良で実天がみれなくても・・・

⑤剣野小学校科学クラブ

「ホバークラフト」　　６月２４日(火)実施
「シャーベットづくり」７月１５日(火)実施

１回目は空気の力で浮かして動くホバークラフトづくりをしたり、大型ホバークラフトに乗って乗り心地を楽しんだりしました。２回目は寒剤を使ったシャーベットづくりをしました。氷をいくら入れてもジュースは固まらないのに、氷に塩を入れてみるとあら不思議、ジュースがシャーベットになります。子どもたちも暑い一日の終わりに、不思議さとおいしさで満足そうでした。

柏崎高校作成の大型ホバークラフト

⑥大洲小学校３・５年生「海堪能ツアー」
６月６日(金)実施

西鯨波海岸で海浜植物観察、番神海岸で磯の生き物観察会、そして高浜海岸で打ち上げ貝の貝ひろいと標本づくりを行いました。海岸を転々とする中で児童は柏崎の４２ｋｍの海岸線の長さや、砂の大きさの違い、景色の違いなどさまざまなことを感じた一日でした。ぜひ、多くの学校でも海の柏崎を楽しむ機会をもってみてはいかがですか。

柏崎の海堪能ツアー

2014科学の祭典(春)柏崎刈羽大会・特集

柏崎工業高校のロボットが登場

音の実験ショー

初登場！チャレンジ研究室

活躍する中学生スタッフ

６月２１日（土)、新潟工科大学を会場に開催しました。地域の企業の方、柏崎刈羽地区の教職員の先生方、新潟工科大学・柏崎工業高校・柏崎翔洋中等教育学校の学生さん、東中学校の科学部の生徒さん、多くの皆さんにご協力いただき無事終了することができました。工科大学祭との同日開催で天気にも恵まれたこともあり、約２１００人の来場者数を迎えることができました。今回は探究的な実験が体験できるチャレンジ研究室を設けて、さまざまな科学と触れ合う時間となりました。

来場者にインタビュー

＜子ども＞　○たくさんのブースがいっきに楽しめていいです。
　　○高分子吸収体が不思議で驚きました。
＜保護者＞　○来場者が年々増えていて、にぎやかでいいですね。
　　○子ども達が喜んでブース周りをしているので見ているこっちも楽しくなるイベントです。
＜スタッフ＞○今まで参加する側でしたが、スタッフとして参加してみて最初は緊張したけれど、小さい子どもたちの喜んでくれる姿を見て楽しく活動できました。

【８月の研修会のご案内】

申し込みは今からでも可能です！

○宿泊野外研修「志賀高原」

◇日　　時　８月　３・４日（日・月）

◇内　　容　大小さまざまな湖沼や湿原をめぐりながら植物観察を行うトレッキングと、高山植物を楽しみつつ荒削りな自然を満喫する登山をお楽しみいただけます。

○谷根川渓流ウオーク

◇日　　時　８月　６日（水）　ＡＭ８：３０～

◇内　　容　谷根川上流での活動です。実際に川の中を歩き、時には泳ぎながら全身で自然を堪能します。生活を支える水環境などを考えてみましょう。総合学習でも活用できます。

○星空観察会

◇日　　時　８月　７日（木）　ＰＭ１８：３０～

◇内　　容　日頃の忙しさの中に星を見上げるひと時と、心に栄養を。月齢１１の月や土星、火星が観察できます。

○小学校教員のためのいまさら聞けない理科の基礎技能研修

◇日　　時　８月　８日（金）　ＡＭ９：００～

◇内　　容　いまさらこんなこと聞いてもいいのかしら・・・と思うことを何でも相談し合う研修にしませんか。皆さんのお困り感にあった基礎技能・授業づくりを紹介します。安心して、楽しみながら理科の授業を行うための研修会です。当日は荒浜小学校　油谷　桂士先生、比角小学校　若林　亮一先生、刈羽小学校　廣田　万博先生が実践を発表してくださいます。

○中２「動物の世界」

◇日　　時　８月１９日（火）　ＡＭ９：００～

◇内　　容　教科書に紹介されている「イカの解剖」をしてみませんか？本物に触れる感動と無脊椎動物なりの生きるための仕組みを学ぶことができます。視点を明確にし、生活と関連付けながらの指導の工夫を紹介します。また、南中学校　石原　明先生と東中学校　金井　勇輝先生からもアイディアを紹介してもらいます。

○科学研究おうえんプロジェクト「参考作品展」「名前調べ会」

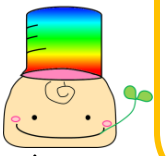
参考作品展

すばらしい標本をみてみましょう。

期　間　**8/12～8/23**
（ただし 17 日は休館日）

時　間　**10 時～17 時**
（最終日 23 日は 16 時まで）

先生方もぜひ見に来てください。



会場はどちらもソフィアセンター２階展示ホールだよ。

名前調べ会

地域の先生と一緒に標本の名前を調べましょう。

期　間　**8/23**（土）

時　間　**10 時～12 時，**
13 時～15 時 30 分

平成２６年度　柏崎市立教育センター　　教育相談班だより　７月号

心の窓

No.１７９

〒９４５－１３５５
柏崎市大字軽井川４８０３－２
ＴＥＬ　0257(23)4591（代表）
ＦＡＸ　0257(23)4610
E-mail　soudan@kenet.ed.jp

「ほどよい」という難しさ

日々の教育相談の中で、色々な保護者の方々と出会います。「親は子どもに何をすればいいでしょうか、アドバイスがほしい」、教育相談で保護者の方々が身を乗り出されて仰る言葉の一つです。子育てをする中で、子どもとの関わり方に悩まないことは無いと思います。何かしらの、困ったことやうまくいかなさ、戸惑いを感じるのは当然です。インターネットで検索してみても、子育ての悩みについてたくさん質問が投稿されているのを目にします。何かに困っている・苦しそうにしている我が子を見て何かしてあげなきゃ、できることは何だろう？と自分の事以上に焦り迷うのは当たり前の親の姿なのだなと感じます。

しかし、子どもに降りかかる障害を親が全部取り払ってあげる必要はありません。子どもは親の手を少しずつ離れ、あらゆることを経験し、新しいことを吸収して成長していきます。問題が起きると何とか原因を取り除いてあげられればと、必死で動いてしまいがちですが、子ども自身の中には、辛さや大変さを乗り越える強さを大なり小なり有しています。子どもに備わっている強さや健康さを私たちが信じ、見守ることもひとつの重要な姿勢です。少し足りない、または、乗り越えるにはまだ難しい所だけを、本人の力を見極めたうえで、手助けしてあげればいいのではないかと思います。

小児科医・精神分析医であった、ウィニコット（Winnicott,D.W.）という人は、『ほどよい母親(good enough mother)』という概念を提唱しました。「ほどよい」というのが面白いところです。ウィニコットは、「幼児の能力を感じ取る母親の能力」によって、「母性的なかかわりの枠組みの範囲内で」慎重に加減をしながら、手厚い関わりから徐々に手を引いていく‥‥(中略)。かなり省略と意訳ではありますが、このような説明を『ほどよい母親』の中でしています。

これは、子育てのどの時期にも当てはまるのではないでしょうか。成長段階に応じて、親が子どもの安心感や依存欲求をしっかりと満たしながらも、子ども自身のよい経験も、時にはつらい体験をも大切に経験させ、ひとりの人として生きていく力を着々と獲得させていく必要があるのでしょう。

ほどよく…と、頭でわかっていても、実際の生活場面では、どこまで手助けしてどこまで見守ってあげたらいいのか、そのバランスを掴むのは難しく、子ども一人ひとりの力も成長速度も異なりますから、いつも手さぐりで進んでいくものです。まして、不登校や発達障がいなどの育てにくい要因があるお子さんであれば尚更のことです。

そんな時に、私たちは、保護者の方々の話を聴きながら、その子に必要なものは何か、逆に見守るべきところはどこなのか…走りすぎていた所を、少し立ち止まってみて、その人にとっての「ほどよい」支援が何なのかを一緒に考えていきたいと思っています。

（文責　相談員　石塚　賢子）

☆☆☆ふれあいルームより☆☆☆

６/１６　えんま市見学

今年のえんま市見学は最終日の１６日でした。ふれあいルームの通級生も既に何回もえんま市に足を運んだ後でしたので、「あそこにぽっぽ焼きがあります。」「ここのがおいしかったです。」など色々と案内をしてくれました。中にはお店の人と顔なじみになった生徒もいて「おにいちゃん、いつもありがとう。」と声を交わしていました。普段ふれあいルームの中の様子しか見ていませんので、通級生が外で色々な交流を持っている姿を見ると、とても頼もしく思えました。

６/２５　茶道体験

本年度も新潟産業大学の茶室をお借りして、月橋龍子先生を講師としてお招きし茶道体験を行いました。緊張している通級生も月橋先生のざっくばらんなお話で徐々に気持ちも和らぎ、お茶を通しておもてなしや相手を思いやる気持ちについて学んでいました。お茶を点てる体験は初めての子がほとんどでしたが、上手に立てることが出来て、季節のお菓子とともにおいしくいただきました。日本の伝統文化に触れる素晴らしい体験ができました。

（ふれあいルーム指導員　寺澤　朋法）

◇◆

教育相談班　8月の予定

≪カウンセリングルーム≫

※いろいろ体験グループ（ＳＳＴ）

１日（金）16:30～17:30　小学校Ａグループ
８日（金）16:30～17:30　小学校Ｂグループ
１５日（金）16:30～17:30　小学校Ｃグループ
２１日（木）18:30～20:00　中学校①グループ
２２日（金）18:30～20:00　中学校②グループ
２７日（水）13:30～15:00　適応指導連携協議会

≪ふれあいルーム≫

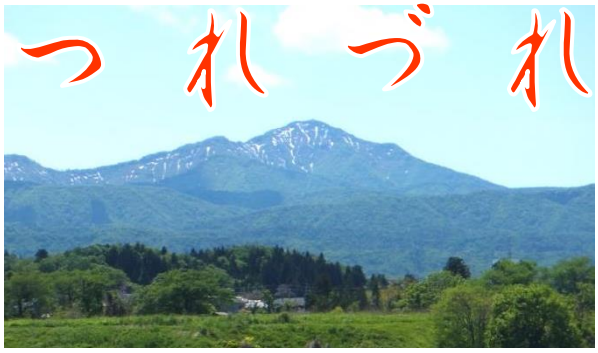
２８日（木）　前期後半通級開始

８月の行事予定表

日	曜	研修・行事・会議
1	金	研:ドナルド・キーン・センター・柏崎の魅力9:30- 研:三余堂～木村美術館めぐり13:15- 情:Word活用2/3　育:昼間育成
2	土	
3	日	科:宿泊野外研修会「志賀高原」（～8/4）
4	月	研:AED実技講習13:30- 育:昼間育成
5	火	研:北条方面文化財巡り9:00- 研:特別支援学級経営の基礎基本②14:00- 研:学校事務研修14:00-（市民プラザ学習室）
6	水	情:ＩＣＴワークショップ13:30- 科:谷根川上流渓流ウォーク8:30-
7	木	情:教師のためのＳＮＳ入門13:30- 科:星座観察会18:30-
8	金	研:発達の特性がある子どもへの指導・支援②14:40- 科:教師のためのいまさら聞けない理科の基礎技能研修9:00-　相:いろいろ体験グループ（小B）16:30-
9	土	
10	日	育:中高生と大人の座談会（市民プラザ）　12:45-
11	月	
12	火	科:科学研究おうえんプロジェクト 「参考作品展」（～8/23）　ソフィアセンター
13	水	
14	木	
15	金	相:いろいろ体験グループ（小C）16:30-
16	土	
17	日	
18	月	育:昼間育成
19	火	科:中2「動物のからたのつくりとはたらき ～イカの解剖～」9:00-
20	水	研:教師のための英会話　10:00-
21	木	育:-わたしの主張-柏崎・刈羽地区大会（市民プラザ）13:30-　情:マクロ入門１/2 相:いろいろ体験グループ（中①）18:30-
22	金	情:マクロ入門３ 相:いろいろ体験グループ（中②）18:30-
23	土	科:科学研究おうえんプロジェクト 「名前調べ会」10:00-　ソフィアセンター
24	日	
25	月	研:指導補助員・介助員研修②14:00- 相:班会議13:00-
26	火	
27	水	
28	木	研:WISC-Ⅳ研修会③13:30- ふ:前期後半開始
29	金	研:スクールサポート事例研修会①14:00- 育:夜間育成
30	土	
31	日	

研:教育研究班　科:科学技術教育　情:情報教育研修

相:教育相談班　ふ:ふれあいルーム　育:育成センター



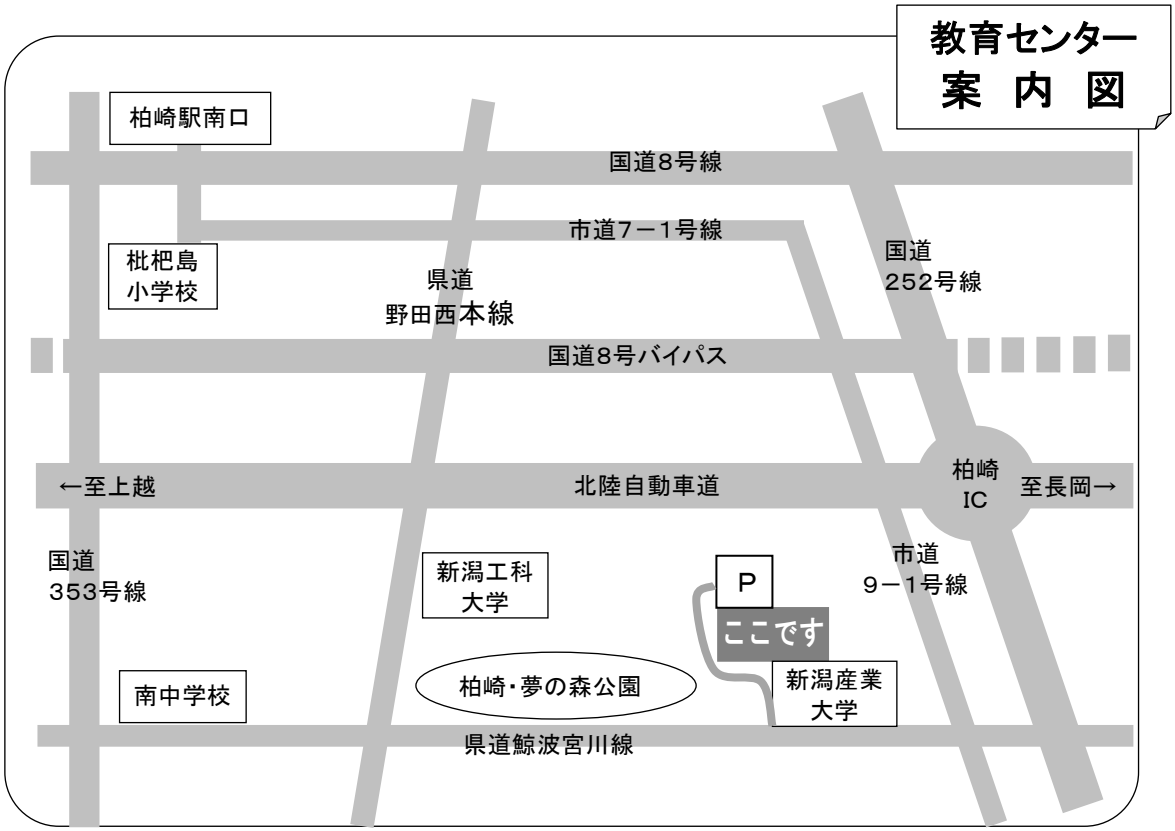
所　員　随　想

♪ギター♪

ふれあいルーム指導員　須藤直子

春からふれあいルームにはギターの音が響いています。何年か前、ふれあいルームにもバンドブームが到来し大活躍していたギターもしばらくはほこりまみれになっていました。「ギターを弾いてみたい!!上手になりたい!!」という通級生によって復活！弦も張り替えられ、チューニングもし、見事によみがえりました。毎日、こつこつ練習をしているので、音がどんどんきれいになっていきます。時々、ギター仲間が増える日もあったのですが、なかなか定着せず、今はソロでがんばっています。

お昼になると、隣の産大の部室からバンドの演奏が聴こえてきます。ギター、ベース、ドラム、ボーカルとあちらはフルメンバーそろっているようです。窓から聴こえてくる演奏に耳をすまし、音だけのライブを毎回楽しませてもらっています。せっかくお隣さん同士、一緒に演奏できたら楽しいかも!?そのためにも『ふれあいバンド』を結成しなくては!!できたら私もメンバーに入りたい…そんな望みを抱きながら、通勤の車中で好きな曲を大音量で流し、発声練習を頑張っています。コーラス担当を目指して。



〒945-1355　柏崎市大字軽井川４８０３番地２（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

イタリアの天文学者ガリレオ・カリレイのたゆまぬ創造と検証の精神にちなみ、教育センター所報を「GALILEI」と名づけています。

インターネット版は、「柏崎市教育情報支援システム」を検索し、トップ画面右上の所報「GALILEI」をクリックすると閲覧できます。

教育センター代表ＴＥＬ：０２５７－２３－４５９１
代表ＦＡＸ：０２５７－２３－４６１０
E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp
教育研究班・情報教育ＴＥＬ：０２５７－２３－１１６８
E-mail：kec@kenet.ed.jp
教育研究班（科学技術教育）ＴＥＬ：０２５７－２０－０２１２
E-mail：kagaku@kenet.ed.jp
教育相談班（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞﾙｰﾑ）ＴＥＬ：０２５７－３２－３３９７
E-mail：soudan@kenet.ed.jp
教育相談班（電話相談）ＴＥＬ：０２５７－２２－４１１５
青少年育成センターＴＥＬ：０２５７－２０－７６０１
E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp
教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成２６年７月発